

京都大学
大学院工学研究科・工学部
概要



平成18年度

目次

1. 工学研究科・工学部の理念	1
2. 沿 革	2
3. 組 織 図	3
4. 大学院の専攻別講座等名	4
5. 平成 18 年度役職者一覧	5
6. 職員数	6
7. 学 生 数	7
8. 平成 18 年度入学状況	8
9. 卒業・修了状況及び学位授与者数	9
10. 研究生、外国人留学生、招へい外国人学者及び部局間協定一覧	10
11. 21世紀COEプロジェクト	13
12. 工学部公開講座	14
13. 図書関係	15
14. 予算関係及び建物面積	16

(表紙)

(C クラスター地球系建物)(桂キャンパス)

1. 工学研究科・工学部の理念

学問の本質は真理の探求である。

その中であって、工学は人類の生活に直接・間接に関与する学術分野を担うものであり、分野の性格上、地球社会の持続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っている。

京都大学工学研究科・工学部は、上の認識のもとで、基礎研究を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を図るとともに、高度の専門能力と高い倫理性、ならびに豊かな教養と個性を兼ね備えた人材を育成する。

このような研究・教育を進めるにあたっては、地域社会との連携と国際交流の推進に留意しつつ、研究・教育組織の自治と個々人の人権を尊重して研究科・学部の運営を行い、社会的な説明責任に応えるべく可能な限りの努力をする。

(参考)

京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多様な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

運営

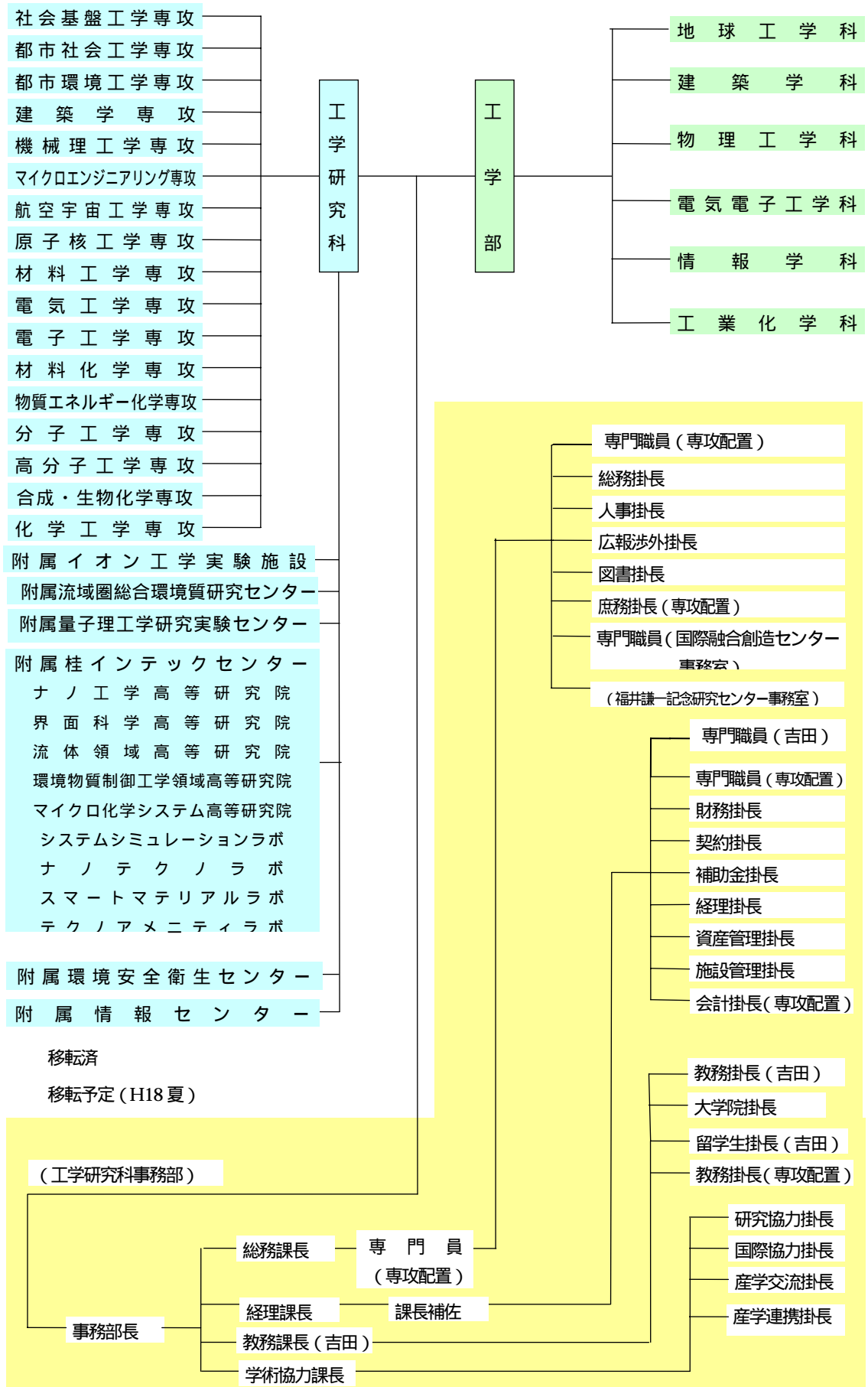
7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

(平成13年12月4日制定)

2. 沿革

明治30. 6	京都帝国大学設置	
9	理工科大学開設	
	土木工学科, 機械工学科設置	
31. 9	電気工学, 採鉱冶金学, 製造化学の3学科設置	
大正 3. 7	理工科大学を理科大学と工科大学に分離	
9	土木・機械・電気・採鉱冶金・工業化学科を設置	
8. 2	工科大学は工学部となる	
9. 8	建築学科設置	
昭和14. 3	燃料化学科設置	
15. 4	化学機械学科設置	
16. 3	繊維化学科設置	
17. 3	採鉱冶金学科を鉱山学科と冶金学科に分離, 航空工学科設置	
21. 1	航空工学科廃止, 応用物理学科設置	
22. 9	京都帝国大学が京都大学と改称	
24. 5	新制京都大学設置	
28. 4	大学院工学研究科設置	
29. 4	電子工学科設置	
30. 4	応用物理学科を航空工学科に改称	
32. 4	大学院工学研究科原子核工学専攻設置	
33. 4	原子核工学科, 衛生工学科設置	
34. 4	オートメーション研究施設, 数理工学科設置	
35. 4	精密工学科, 合成化学科設置	
36. 4	電気工学第二学科, 金属加工工学科, 電離層研究施設設置	
	繊維化学科を高分子化学科, 化学機械学科を化学工学科に改組, 改称	
37. 4	機械工学第二学科設置	
38. 4	交通土木工学科設置	
39. 4	建築学第二学科設置, 鉱山学科を資源工学科に改称	
41. 4	超高温プラズマ研究施設設置	
	燃料化学科を石油化学科に改組, 改称	
45. 4	情報工学科設置	
50. 4	機械工学第二学科を物理工学科に改組, 改称	
51. 5	超高温プラズマ研究施設が京都大学ヘリオトロン核融合研究センターとして発足	
53. 4	イオン工学実験施設設置	
56. 4	電離層研究施設が京都大学超高層電波研究センターとして発足	
58. 4	分子工学専攻設置	
60. 4	環境微量汚染制御実験施設設置	
61. 4	重質炭素資源転換工学実験施設設置	
62. 5	応用システム科学専攻設置	
平成 元. 5	オートメーション研究施設廃止, 高度情報開発実験施設設置	
3. 4	環境地球工学専攻設置	
4. 4	メゾ材料研究センター設置	
5. 4	化学系の改組	
	学部の5学科(工業化学, 石油化学, 化学工学, 高分子化学, 合成化学)を工業化学科に, 研究科の5専攻(学科に同じ)と分子工学専攻を材料化学, 物質エネルギー化学, 分子工学, 高分子化学, 合成・生物化学, 化学工学の6専攻に改組	
6. 6	物理系の改組	
	学部の7学科(機械工学, 冶金学, 航空工学, 原子核工学, 精密工学, 金属加工学, 物理工学)を物理工学科に, 研究科の7専攻(学科に同じ)を, 機械工学, 機械物理学, 精密工学, エネルギー応用工学, 原子核工学, 材料工学, 航空宇宙工学の7専攻に改組	
7. 4	電気系及び情報系の改組	
	学部の, 電気工学科, 電子工学科, 電気工学第二学科の3学科を電気電子工学科に, 数理工学科及び情報工学科の2学科を情報学科に, 研究科の6専攻(電気工学, 電子工学, 電気工学第二, 数理工学, 情報工学, 応用システム科学)を電気工学専攻, 電子物性工学専攻, 電子通信工学専攻, 数理工学専攻, 情報工学専攻, 応用システム科学専攻に各々改組	
	環境微量汚染制御実験施設を環境質制御研究センターに名称変更	
8. 4	土木系及び建築系の改組	
	学部の, 土木工学科, 衛生工学科, 交通土木工学科, 資源工学科の4学科を地球工学科に, 建築学科及び建築学第二学科の2学科を建築学科に改組	
	また, 研究科の7専攻(土木工学, 衛生工学, 交通土木工学, 資源工学, 建築学, 建築学第二, 環境地球工学)を土木工学専攻, 環境工学専攻, 土木システム工学専攻, 資源工学専攻, 建築学専攻, 生活空間学専攻, 環境地球工学専攻に各々改組し, 大学院重点化を完了	
	エネルギー科学研究科の新設に伴い, エネルギー応用工学専攻を廃止	
	附属重質炭素資源転換工学実験施設の廃止	
9. 4	高度情報実験施設は, 総合情報メディアセンターへの統合により廃止	
10. 4	情報学研究科の新設に伴い, 電子通信工学専攻, 数理工学専攻, 情報工学専攻及び応用システム科学専攻を廃止	
	附属イオン工学実験施設, 附属メゾ材料研究センター及び附属環境質制御研究センターが, 学部附属施設から研究科附属施設に転換	
11. 4	附属量子理工学研究実験センター設置	
13. 4	附属桂インテックセンター設置	
14. 3	附属メゾ材料研究センター廃止	
4	附属情報センター設置	
15. 4	地球系及び建築系の改組, 並びに電気系の名称変更	
	研究科の5専攻(土木工学, 土木システム, 資源工学, 環境工学, 環境地球工学)を社会基盤工学, 都市社会学, 都市環境工学の3専攻に改組	
	また, 生活空間学専攻を廃止し, 電子物性工学専攻を電子工学専攻に名称変更	
10	桂キャンパス開学	
	電気工学, 電子工学, 材料化学, 物質エネルギー化学, 分子工学, 高分子工学, 合成・生物化学, 化学工学の8専攻及び附属イオン工学実験施設が, Aクラスターへ移転	
16. 4	附属環境安全衛生センター設置	
10	事務部が桂キャンパスBクラスターへ, 建築学専攻がCクラスターへ移転	
17. 4	研究科の4専攻(機械工学, 機械物理学, 精密工学, 航空宇宙工学)を機械理工学, マイクロエレクトロニクス, 航空宇宙工学の3専攻に改組	
	附属環境質制御研究センターを附属流域圏総合環境質研究センターに改組	
10	寄附講座「日中環境技術研究講座」設置	
	ナノメディシン融合教育ユニット教育プログラム開始	

3. 組織図



4. 大学院の専攻別講座等名

大学院	専攻	講 座
工学研究科 17専攻 80講座 6施設	社会基盤工学専攻	応用力学, 地殻工学, 構造工学, 構造材料学, 地盤・水工学
	都市社会工学専攻	都市基盤システム工学, 都市社会計画学, 交通マネジメント工学, ライフライン工学, 社会基盤マネジメント工学
	都市環境工学専攻	地殻環境工学, 環境デザイン工学, 都市空間工学, 居住空間学, 環境情報学, ウォーターフロント環境工学, 複合構造デザイン工学, 環境システム工学, 環境衛生学, ジオフロント環境工学, 総合環境学, 環境材料学, 環境構成学
	建築学専攻	建築保全再生学, 人間生活環境学, 建築史学, 建築構法学, 建築環境計画学, 建築設計学, 建築構造学, 建築生産工学,
	機械理工学専攻	機械システム創成学, 生産システム工学, 機械材料力学, 流体力工学, 物性工学, 機械力学
	マイクロインテグレーション専攻	構造材料強度学, ナノシステム創成工学, ナノサイエンス, マイクロシステム創成
	航空宇宙工学専攻	航空宇宙力学, 航空宇宙基礎工学, 航空宇宙システム工学
	原子核工学専攻	量子ビーム科学, 量子物質工学, 核エネルギー工学
	材料工学専攻	材料設計工学, 材料プロセス工学, 材料物性学, 材料機能学
	電気工学専攻	複合システム論, 電磁工学, 電気エネルギー工学, 電気システム論
	電子工学専攻	集積機能工学, 電子物理工学, 電子物性工学, 量子機能工学
	材料化学専攻	機能材料設計学, 無機材料化学, 有機材料化学, 高分子材料化学
	物質エネルギー化学専攻	エネルギー変換化学, 基礎エネルギー化学, 基礎物質化学, 触媒科学
	分子工学専攻	分子設計学, 分子物性工学, 分子エネルギー工学, 物性物理化学
	高分子化学専攻	先端機能高分子, 高分子合成, 高分子物性
	合成・生物化学専攻	有機設計学, 合成化学, 生物化学
化学工学専攻	環境プロセス工学, 化学工学基礎, 化学システム工学	
(附属教育研究施設等)	イオン工学実験施設 (昭和53年4月開設)	京都市西京区京都大学桂
	流域圏総合環境質研究センター (平成17年4月開設)	大津市由美浜1の2
	量子理工学研究実験センター (平成11年4月開設)	宇治市五ヶ庄
	桂インテックセンター (平成13年4月開設)	京都市西京区京都大学桂
	情報センター (平成14年4月開設)	京都市西京区京都大学桂
	環境安全衛生センター (平成16年4月開設)	京都市西京区京都大学桂

学部の学科別学科目名

学部	学科	学 科 目
工学部 6学科 14学科目	地球工学科	土木工学, 環境工学, 資源工学
	建築学科	建築学
	物理工学科	機械システム学, 材料科学, エネルギー理工学, 宇宙基礎工学
	電気電子工学科	電気電子工学
	情報学科	計算機科学, 数理工学
	工業化学科	創成化学, 工業基礎化学, 化学プロセス工学

5. 平成18年度役職者一覧

工学研究科長・工学部長

副学長 西本清一

副研究科長(18.4.1~)

評議員 森澤真輔

評議員 橋邦英

土屋和雄

宗本順三

専攻長

社会基盤工学専攻 朝倉俊弘 電気工学専攻 和田修己

都市社会工学専攻 家村浩和 電子工学専攻 北野正雄

都市環境工学専攻 内山巖雄 材料化学専攻 田中勝久

建築学専攻 林康裕 物質エネルギー化学専攻 垣内隆

機械理工学専攻 宮崎則幸 分子工学専攻 白川昌宏

マイクエンジニアリング専攻 木村健二 高分子化学専攻 田中文彦

航空宇宙工学専攻 市川朗 合成・生物化学専攻 濱地格

原子核工学専攻 森山裕丈 化学工学専攻 長谷部伸治

材料工学専攻 乾晴行

施設長

附属イオン工学実験施設 石川順三 附属桂インテックセンター 渡邊史夫

流域圏総合環境質研究センター 武田信生 附属情報センター 北野正雄

附属量子理工学研究実験センター 伊藤秋男 附属環境安全衛生センター 大島幸一郎

学科長

地球工学科 樋口忠彦 電気電子工学科 佐藤亨

建築学科 竹脇出 情報学科 山本章博

物理工学科 塩路昌宏 工業化学科 伊藤紳三郎

工学研究科事務部

事務部長 松本哲夫 経理課長 増地公一

総務課長 中山久 課長補佐 仲豊廣

専門員 伊藤良昭 教務課長 林晴夫

学術協力課長 有本文雄

6. 職員数

(教員)

(黒字:吉田地区等、赤字:桂地区)(平成18.5.1現在)

区 分	教 員				合 計
	教 授	助教授	講 師	助 手	
社会基盤工学専攻	8	8(1)		7	23(1)
都市社会工学専攻	6(2)	8(1)	1	9	24(3)
都市環境工学専攻	13(2)(1)	14(2)	1	17(2)	45(6)(1)
建築学専攻	11	10	1	11	33
機械理工学専攻	11	10	3	11	35
マイクロエンジニアリング専攻	5	3	2	7	17
航空宇宙工学専攻	7	4	2	4	17
原子核工学専攻	5	6	1	4	16
材料工学専攻	9	7		8	24
電気工学専攻	6	6	1	6	19
電子工学専攻	7	4	7	8	26
材料化学専攻	8	5		9	22
物質エネルギー化学専攻	7	5	1	7	20
分子工学専攻	6	6	1	5	18
高分子化学専攻	7	6		10	23
合成・生物化学専攻	9(1)	7(1)		11(1)	27(3)
化学工学専攻	7	4		9	20
附属イオン工学実験施設	1		1		2
附属流域圏総合環境質研究センター	2	1	1	1	5
附属量子理工学研究実験センター		2		1	3
附属桂インテックセンター	[1]			[1]	[2]
附属情報センター	[1]		[2]		[3]
附属環境安全衛生センター	[1]		[1]		[2]
合 計	135(69+66)(3)[3][3]	116(53+63)(3)[2]	23(12+11)[3]	145(76+69)(3)[1]	419(210+209)(9)[7][5]

注1:表中の()内は大学院地球環境学堂との流動教員であって外数。

注2:表中の[]内は大学院経営管理研究部からの併任教員であって外数。

注3:表中の[]内は兼務教員であって外数。

(職員)

(黒字:吉田地区、赤字:桂地区)(平成18.5.1現在)

区分	事務職員	技術職員	合計
社会基盤工学専攻	13	2	19
都市社会工学専攻		1	
都市環境工学専攻		3	
地球工学科			
建築学専攻	5	3	8
建築学科	2		2
機械理工学専攻	16	4	32
マイクロエンジニアリング専攻		2	
航空宇宙工学専攻			
原子核工学専攻		3	
材料工学専攻		7	
物理工学科			
電気工学専攻	18		30
電子工学専攻			
材料化学専攻		1	
物質エネルギー化学専攻		3	
分子工学専攻		1	
高分子化学専攻		2	
合成・生物化学専攻		5	
化学工学専攻			
電気電子工学科	3		3
工業化学科	5		5
情報学		2	2
附属情報センター		3	3
附属環境安全衛生センター		3	3
(国際融合創造センター)	1		1
	事務室		
	64(52+12)	5(4+1)	69(56+13)
合 計	127(76+51)	50(25+25)	177(101+76)

7. 学生数

1. 大学院

(黒字: 吉田地区、赤字: 桂地区) (平成 18.4.1 現在)

専攻	区 分	修士課程		博士後期課程			合計
		1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	
社会基盤工学		47	49	9 (4)	9 (5)	13 (6)	127 (15)
都市社会工学		52	59	16 (10)	10 (6)	14 (2)	151 (18)
都市環境工学		86	89	26 (12)	19 (7)	34 (11)	254 (30)
土木工学		-	-	-	-	1 (1)	1 (1)
環境工学		-	-	-	-	1 (1)	1 (1)
環境地球工学		-	1	-	-	8 (1)	9 (1)
建築学		56	65	17 (2)	9 (3)	18 (5)	165 (10)
生活空間学		-	1	-	-	1	2
機械理工学		54	59	11 (1)	7	-	131 (1)
マイクロエンジニアリング		26	27	11 (1)	4	-	68 (1)
航空宇宙工学		20	28	8	2 (1)	4	62 (1)
原子核工学		23	25	4	13 (2)	2	67 (2)
材料工学		40	39	7 (3)	5 (1)	7 (1)	98 (5)
機械工学		-	1	-	1 (1)	9 (1)	11 (2)
機械物理工学		-	3	-	3 (3)	3 (1)	9 (4)
精密工学		-	1	-	2 (2)	4 (1)	7 (3)
電気工学		46	37	3	3	6	95
電子工学		36	34	10 (3)	7 (2)	7 (2)	94 (7)
電子物性工学		-	-	-	-	1	1
材料化学		26	31	12 (1)	11 (1)	10 (2)	90 (4)
物質エネルギー化学		35	38	6 (1)	10	9	98 (1)
分子工学		34	33	11 (1)	7	4	89 (1)
高分子化学		44	46	10 (1)	11 (2)	18 (4)	129 (7)
合成・生物化学		30	33	11	13 (1)	12 (3)	99 (4)
化学工学		32	27	9 (6)	6 (2)	6 (3)	80 (11)
合計		687	726	181 (46)	152 (39)	192 (45)	1,938 (130)
		339	345	89 (15)	77 (11)	92 (19)	942 (45)

注: 表中の () 内は 10 月入学者で内数。

2. 学部

(平成 18.4.1 現在)

学科	区 分	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
地球工学		186	185	185	221	777
建築学		84	82	83	111	360
物理工学		239	236	244	321	1,040
電気電子工学		133	137	141	203	614
情報学		91	92	98	136	417
工業化学		237	237	234	322	1,030
合計		970	969	985	1,314	4,238

8. 平成 18 年度入学状況

1. 大学院

修士課程				
専攻	入学定員	入学志願者	専攻	入学者数
社会基盤工学	29	58(4)	社会基盤工学	45(2)
都市社会工学	31	50(7)	都市社会工学	46(6)
都市環境工学	77	93(5)	都市環境工学	81(5)
建築学	34	66(7)	建築学	51(5)
機械理工学	38	190(5)	機械理工学	53(1)
マイクロエンジニアリング	17		マイクロエンジニアリング	26
航空宇宙工学	17		航空宇宙工学	20
原子核工学	19	26	原子核工学	23
材料工学	22	48(1)	材料工学	39(1)
電気工学	21	112(13)	電気工学	43(3)
電子工学	21		電子工学	33(3)
材料化学	19	216(3)	材料化学	26
物質エネルギー化学	23		物質エネルギー化学	34(1)
分子工学	27		分子工学	34
高分子化学	31		高分子化学	44
合成・生物化学	21		合成・生物化学	30
化学工学	19	37(1)	化学工学	31(1)
合計	466	896(46)	合計	659(28)

()は外国人留学生で外数

博士後期課程				
専攻	入学定員	入学志願者	専攻	入学者数
社会基盤工学	9	4 [2] (1)	社会基盤工学	4[2](1)
都市社会工学	10	4 (2)	都市社会工学	4 (2)
都市環境工学	23	9 [2] (5)	都市環境工学	9[2](5)
建築学	16	11 [4] (6)	建築学	114
機械理工学	18	10 [2]	機械理工学	10[2]
マイクロエンジニアリング	8	10 [6]	マイクロエンジニアリング	10[6]
航空宇宙工学	8	7 [5] (1)	航空宇宙工学	7[5](1)
原子核工学	9	3	原子核工学	3
材料工学	10	3 (1)	材料工学	3 (1)
電気工学	10	3 [1]	電気工学	3 [1]
電子工学	10	6 1	電子工学	61
材料化学	9	11 [3]	材料化学	11 [3]
物質エネルギー化学	11	6	物質エネルギー化学	5
分子工学	12	9 [2](1)	分子工学	9[2](1)
高分子化学	15	8 (2)	高分子化学	7 (2)
合成・生物化学	10	11 1	合成・生物化学	101
化学工学	9	3 [1]	化学工学	3[1]
合計	197	118 [30](21)	合計	115 [30](19)

注:[]は社会人特別選抜で内数 ()は外国人留学生で外数

2. 学部

学 科	区 分	入学定員	入学志願者			入学者		
			男	女	計	男	女	計
地 球 工 学		185	651 (1)	63	714 (1)	172 (1)	14	186 (1)
建 築 学		80	288 (2)	71 (2)	359 (4)	66 (2)	18 (1)	84 (3)
物 理 工 学		235	676 (4)	35 (1)	711 (5)	232 (3)	7 (1)	239 (4)
電 気 電 子 工 学		130	448 (4)	5	453 (4)	132 (3)	1	133 (3)
情 報 学		90	321 (3)	19	340 (3)	85	6	91
工 業 化 学		235	583 (1)	70	653 (1)	217 (1)	20	237 (1)
合 計		955	2,967 (15)	263 (3)	3,230 (18)	904(10)	66 (2)	970 (12)

注:表中の () 内は外国人留学生で内数

9. 卒業・修了状況及び学位授与者数

1. 大学院修了者数(専攻別)

専攻	修士課程		博士後期課程
	平成17年度	累計	平成18年4月1日現在 研究指導認定退学者累計
社会基盤工学	42	86	
都市社会工学	43	84	2
都市環境工学	98	171	3
土木工学		1,996	142
交通土木工学		598	14
土木システム工学		240	23
資源工学		681	40
衛生工学		620	54
環境工学		205	8
環境地球工学	1	501	27
建築学	47	1,325	129
建築学第二		514	51
生活空間学		159	17
機械理工学	1	1	
機械工学	31	1,153	76
物理工学		462	37
機械物理工学	21	210	5
精密工学	24	859	55
原子核工学	17	882	129
冶金学		634	47
金属加工学		567	43
材料工学	32	360	8
エネルギー応用工学		57	2
航空工学		388	32
航空宇宙工学	16	162	4
電気工学	26	1,014	91
電子工学	33	882	77
電子物性工学		227	15
電気工学第二		730	67
電子通信工学		110	2
数理工学		785	84
情報工学		508	44
応用システム科学		342	10
工業化学		1,263	212
材料化学	25	307	17
石油化学		758	137
物質エネルギー化学	32	403	17
分子工学	33	566	39
高分子化学	43	1,420	254
合成化学		582	152
合成・生物化学	23	339	37
化学工学	28	1,094	99
合計	616	24,245	2,302

2. 博士学位授与者数

(平成18.4.1現在)

区 分		工学博士
旧制	大正9年6月以前の学位令によるもの	42 (28)
	大正9年7月以降の学位令によるもの	1,338
新制	大学院博士課程修了者	2,684
	論文提出によるもの	3,903
合 計		7,967 (28)

注:表中の () 内は推薦によるもので内数。

3. 学部卒業生数(学科別)

学 科	年 度	昭和27年度~ 平成16年度	平成17年度	累計
土木工学		3,222		3,222
機械工学		2,122		2,122
電気工学		2,112		2,112
鉱山学		357		357
資源工学		1,073		1,073
冶金学		1,532		1,532
工業化学		2,125		2,125
建築学		2,207		2,207
燃料化学		443		443
石油化学		1,296		1,296
化学機械学		295		295
化学工学		1,244		1,244
高分子化学		1,225		1,225
繊維化学		250		250
応用物理学		116		116
電子工学		1,606		1,606
航空工学		810		810
原子核工学		714		714
衛生工学		1,390		1,390
数理工学		1,448		1,448
精密工学		1,379		1,379
合成化学		1,259		1,259
電気工学第二		1,447		1,447
金属加工学		1,220		1,220
機械工学第二		505		505
交通土木工学		1,284		1,284
建築学第二		1,149		1,149
情報工学		1,037		1,037
物理工学		480		480
(新)工業化学		1,981	237	2,218
(新)物理工学		1,881	230	2,111
電気電子工学		894	131	1,025
情報学		611	98	709
地球工学		1,147	183	1,330
(新)建築学		518	84	602
合計		42,379	963	43,342

10. 研究生、外国人留学生、招へい外国人学者及び部局間協定一覧

1. 研究生等受入れ状況 (平成18.4.1現在)

専攻・学科	区分	研究生	研修員	特別聴講 学生	特別研究 学生	合計
社会基盤工学		1 (1)				1 (1)
都市社会工学		3 (3)				3 (3)
都市環境工学		3 (1)	1			4 (1)
建築学		1 (1)	2			3 (1)
機械工学						
機械物理工学					6	6
マイクロエンジニアリング			1		5 (1)	6 (1)
精密工学						
原子核工学						
材料工学		1				1
航空宇宙工学						
電気工学		1 (1)				1 (1)
電子工学		1		1 (1)		2 (1)
材料化学				3		3
物質エネルギー化学		4 (2)			6 (1)	10 (3)
分子工学					6 (1)	6 (1)
高分子化学		2 (2)			8 (1)	10 (3)
合成・生物化学					5	5
化学工学						
地球工学科						
建築学科						
物理工学科						
電気電子工学科						
情報学科						
工業化学科						
合計		17 (11)	4	4 (1)	36 (4)	61 (16)

注1: 表中の () 内は、外国人で内数

注2: 研修員は受任研究員を含む。

+

2. 外国人留学生国別一覧 (平成18.4.1現在)

地域・国名等	区分	学部	大学院		合計
			修士課程	博士後期課程	
アジア州(16)					
バングラデシュ				5	5
中国		48	19	34	101
インドネシア			2	8	10
イラン				2	2
イスラエル				1	1
韓国		16	18	34	68
マレーシア		1	1		2
モンゴル				1	1
ネパール			1	4	5
パキスタン				3	3
フィリピン				3	3
スリランカ		1		2	3
台湾		1	2	6	9
タイ			4	5	9
ベトナム		9	1	5	15
インド				4	4
アフリカ州(3)					
エジプト				2	2
ケニア			3		3
タンザニア				1	1
ヨーロッパ州(9)					
キプロス			1		1
連合王国			1		1
ベルギー				1	1
フランス			1	1	2
ドイツ				2	2
ポーランド				2	2
セルビア・モンテネグロ				1	1
ルーマニア				1	1
スウェーデン				1	1
北アメリカ州(2)					
カナダ			1		1
メキシコ			1		1
南アメリカ州(3)					
ブラジル				1	1
コロンビア				2	2
ペルー			1	1	2
計 (33)		76	57	133	266

3. 外国人研究留学生等受入状況 (平成 18.4.1 現在)

区分 地域・国名等	研究生	特別聴講 学生	特別研究 学生	合計
アジア州(5)				
中 国	3			3
韓 国	2		1	3
イ ン ド	1			1
マ レ ー シ ア	1			1
台 湾	1			1
レ パ ノ ン			1	1
ヨーロッパ州(3)				
フ ラ ン ス		2		2
ド イ ツ		1	2	3
チ ェ コ	1			1
北アメリカ州(2)				
カ ナ ダ	1			1
アメリカ合衆国			1	1
南アメリカ州(1)				
ブ ラ ジ ル	1			1
大洋州(1)				
オーストラリア		1		1
計 (12)	11	4	5	20

4. 招へい外国人学者等受入者数 (平成 17年度)

区分 地域・国名等	招へい 外国人学者	外国人 共同研究者	外国人 研究員	合計
アジア州(8)				
中 国	5	5		
イ ン ド		1		
バングラデシュ	1			
インドネシア	3	2		
韓 国	3	5		
マ レ ー シ ア	1	1		
台 湾	1	3		
タ イ		2		
アフリカ州(1)				
モ ロ ッ コ	1			
ヨーロッパ州(7)				
オ ラ ン ダ	1			
フ ラ ン ス	2	3		
ド イ ツ	3			
フィンランド	1			
イ タ リ ア	2	3		
スウェーデン		2		
連 合 王 国	1			
NIS諸国(0)				
北アメリカ州(2)				
カ ナ ダ	1			
アメリカ合衆国	6	2		
オセアニア(1)				
オーストラリア	1			
計 (19)	33	29		

5. 部局間学術交流協定締結大学

(平成 18. 7. 1 現在)

区分 地域・国名等	機 関 名	締結年月日
アジア州(5)		
中 国	* 上海交通大学	1999. 1. 1 2003. 9. 4 (更新)
	大連理工大学	2003. 7. 3
	同濟大学大学院	2005.12.31
韓 国	浦項科学技術大学	1997. 1. 1
マレーシア	マラヤ大学	2002. 7.12
シンガポール	ナンヤン工科大学	2001. 1.22
ベトナム	ハノイ土木工科大学	2005.12.24
ヨーロッパ州(7)		
チエコ	チェコ工科大学プラハ校工学部	1992. 7. 1 1996. 4. 3 (更新)
フランス	* グルノーブル工科大学	1991.11.18 1999. 6.23 (更新) 2004. 2.10 (再更新)
	ピエール・マリー・キュリー大学(パリ第6大学)	1992.11.10 1997.12.26 (更新)
ドイツ	エアランゲン・ニルンベルク大学工学部	2002. 2. 1
	* デュッセルドルフ Heinrich Heine 大学	2002. 5.17
	* ドルトムント大学	2002.12.18
	* カイザースラウテルン大学	2002.12.20
	* ミュンヘン工科大学	2003. 2.13
	* カールスルーエ大学	2004. 3.22
	フライブルク大学マイクロシステム工学部・工学研究科 (アメリカ合衆国・ミシガン大学を含めた3大学間協定)	2004.10.30
* ヨハネス・グーテンベルグ大学(マインツ)物理・数学・計算機科学科	2005.12.16	
オランダ	* デルフト工科大学	1998. 1. 1 2003. 2.17 (更新)
ノルウェー	* ノルウェー科学技術大学 (元トロンハイム大学ノルウェー工科大学)	1990. 9. 1 1996. 4. 1 (更新) 2003. 3.17 (再更新)
スウェーデン	* チャルマーシュ工科大学	2002.12.19
連 合 王 国	バーミンガム大学工学研究科等	2003.12. 5
北アメリカ州(1)		
アメリカ合衆国	* ウィスコンシン大学マディソン校工学部	1990. 8. 1
	ワシントン大学工学部	1991.10.15
	テキサス大学オースティン校工学部	1991.12. 1
	* レンスラー工科大学工学部	1995. 1. 1
	フロリダ大学教養学部・教養学研究科	2004. 4.26
	ミシガン大学工学部・工学研究科 (ドイツ・フライブルク大学を含めた3大学間協定)	2004.10.30
南アメリカ州(1)		
ブラジル	サンパウロ大学工学部・工学研究科	2004.6.16
14カ国	29大学	

11. 2 1世紀COEプロジェクト

21世紀COEプロジェクト

- ・京都大学化学連携研究教育拠点 (拠点リーダー: 齋藤 軍治 教授)
- ・学際統合による新材料科学の研究教育拠点 (拠点リーダー: 小久見善八 教授)
- ・電気電子基盤技術の研究教育拠点形成 (拠点リーダー: 北野 正雄 教授)
- ・動的機能機械システムの数理モデルと設計論 (拠点リーダー: 土屋 和雄 教授)

新工学教育プログラム

- ・特色ある大学教育支援プログラム「コアリッションによる工学教育の相乗的改革」に協力

現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- ・国際連携による地球・環境科学教育
 - アジア地域の大学との同時進行型連携講義の構築と実践 -

特色ある大学教育支援プログラム

- ・相互研修型FDの組織化による教育改善

魅力ある大学院教育(イニシアティブ)

- ・化学教育トリニティー

寄附講座

- ・日中環境技術研究講座

日本学術振興会(JSPS)アジア諸国との交流事業 拠点大学交流

- ・マレーシア(マラヤ大学)環境科学
 - 地域総合管理概念に基づくゼロディスチャージ・ゼロミッション社会の構築
- ・中国(清華大学)都市環境
 - 都市環境の管理と制御

日本学術振興会(JSPS)先端研究拠点事業 拠点形成型

- ・米国(フロリダ大学)・英国(リーズ大学)・オーストラリア(メルボルン大学)
 - 先進微粒子ハンドリング科学

科学技術振興調整費「振興分野人材養成プログラム」

- ・京都大学計算材料研究者養成ユニット(平成14年度~)
- ・ナノメディシン融合教育ユニット (平成17年度~)

12. 工学部公開講座

<p>平成17年度</p> <p>私たちの暮らしを支える工学</p>	<p>電力システムと超伝導応用 身近なところにあるナノテクノロジー 未知の地震と住まいの安全 - 究極の耐震設計とは - 小さな機械が創る大きな機会 - マイクロマシンの世界 -</p>	<p>(大澤 靖 治) (平尾 一 之) (竹 脇 出) (田 畑 修)</p>
<p>平成16年度</p> <p>身の回りのハイテク</p>	<p>ロボットと人間 機構, 技能, そして心へ 微生物の多様な能力を人間社会に活かそう 知っているようで知らないポリマーの話 リズムとカオス</p>	<p>(吉川 恒 夫) (今中 忠 行) (中 條 善 樹) (藤 坂 博 一)</p>
<p>平成15年度</p> <p>人間 - 誕生, 生活, そして未来</p>	<p>医学・生物学と工学・情報学の融合 環境と都市・交通 持続的な都市と建築をめざして - 環境とエネルギー - 宇宙工学への招待</p>	<p>(松 田 哲 也) (青 山 吉 隆) (吉 田 治 典) (土 屋 和 雄)</p>
<p>平成14年度</p> <p>人と環境にやさしい 工学をめざして</p>	<p>集中から分散へ - 21世紀の電源のあり方 - 人間と風景 - 日本の伝統的な絵画や庭から学ぶこと - 聖徳太子コンピュータをめざして - 混合音の認識 - 環境と化学</p>	<p>(垣 本 直 人) (岡 崎 甚 幸) (奥 乃 博) (大 鷲 幸 一 郎)</p>
<p>平成13年度</p> <p>21世紀のくらしと科学技術 - ナノテクノロジーと 地震工学 -</p>	<p>究極のモノづくり - ナノテクノロジーによる新材料創成 - 新しい光ナノデバイス - 究極の光の制御を目指して - (施設見学)ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 地震火災から文化財を守ろう - もう時間がない - 地震に弱い建物をなくすために - 阪神大震災のときの鋼構造建物の被害とその後の対策 - (施設見学)土木百周年記念資料室</p>	<p>(平尾 一 之) (野 田 進) (土 岐 憲 三) (井 上 一 朗)</p>

13. 図書関係

蔵書統計

(平成 18. 4. 1 現在)

	図書室名等	図書(冊数)			雑誌(タイトル数)		
		和書	洋書	合計	和書	洋書	合計
1	共通図書室(共通・化学系)	584	15,292	15,876	149	495	644
2	地球系図書室	16,293	38,510	54,803	369	356	725
3	建築系図書室	61,126	32,986	94,112	245	218	463
4	物理系図書室	13,174	41,666	54,840	279	720	999
5	航空宇宙工学図書室	5,212	13,959	19,171	68	183	251
6	電気系図書室	17,000	24,114	41,114	382	399	781
7	化学系図書室	7,518	21,936	29,454	48	320	368
	合計	120,907	188,463	309,370	1,540	2,691	4,231

14. 予算関係及び建物面積

1. 予算額

区 分	平成15年度 (千円)	平成16年度 (千円)	平成17年度 (千円)	備 考
人 件 費		6,894,785	6,583,029	
物 件 費		2,363,996	2,384,647	
受託研究費(受入額)	916,921	1,073,393	2,246,370	共同研究を含む
科学研究費補助金(受入額)	2,569,440	2,634,214	2,504,485	COEを含む
奨学寄附金(受入額)	434,392	490,972	612,621	

2. 建物面積

(平成18.4.1現在)

区 分	面 積(m ²)
本部地区	
工 学 部 9 号 館	277
工 学 部 4 号 館	2,480
岡 田 記 念 館	240
高 分 子 化 学 東 別 館	539
土 木 総 合 館	2,515
土木工学科研究室実験室	108
土 木 総 合 館 別 館	402
土木工学科教室研究室	1,402
土木工学地震観測室	24
工学部5号館地下別棟	158
工 学 部 5 号 館	8,164
工 学 部 3 号 館 A 棟	1,304
総合研究棟(工学部3号館北棟)	2,925
電 気 総 合 館	1,846
工 学 部 1 号 館	6,398
工 学 部 研 究 実 験 棟	1,206
R I 研 究 実 験 棟	2,776
物 理 系 校 舎	18,233
工 学 部 6 号 館	6,197
工 学 部 6 号 新 館	617
工 学 部 2 号 館	8,891
石 油 化 学 研 究 室	175
建 築 学 科 製 図 室	252
建 築 学 教 室 本 館	1,615
工 学 部 7 号 館	1,874
工 学 部 坂 記 念 館	784
工 学 部 8 号 館	2,691
情報工学研究室実験室	5,438
航空工学研究室実験室	3,957
工学部3号館南棟	599
工学部3号館西棟	1,062
工学部総合校舎	4,389
そ の 他	555
小 計	90,093

区 分	面 積(m ²)
桂地区	
A クラスタ - A 1 棟	11,631
A クラスタ - A 2 棟	9,409
A クラスタ - A 3 棟	8,451
A クラスタ - A 4 棟	9,729
C クラスタ - C 1 棟	25,736
C クラスタ - C 2 棟	8,738
極 低 温 セ ン タ ー	365
実 験 排 水 処 理 施 設	120
E M セ ン タ ー 棟	2,809
桂インテックセンター棟	6,328
事 務 管 理 棟	4,695
C クラスタ - 事務棟	295
小 計	88,306
宇治・大津地区	
原 子 核 工 学 実 験 室	3,113
超 空 気 力 学 実 験 装 置 室	670
航 空 工 学 科 風 洞 実 験 室	662
総 合 研 究 実 験 棟	1,502
水 質 汚 染 制 御 実 験 室	789
附 属 流 域 圏 総 合 環 境 質 研 究 セ ン タ ー 研 究 室	296
そ の 他	192
小 計	7,224
合 計	185,623



GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING

FACULTY OF ENGINEERING

京都大学大学院工学研究科・工学部概要
平成 18 年度版

編集・発行: 京都大学工学研究科総務課広報渉外掛

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

Tel. 075-383-2010

<http://www.kogaku.kyoto-u.ac.jp/>

平成 18 年 6 月発行